



社協の事業は、皆様の「会費・寄付金」などによって支えられております。

社協だより

平成27年1月15日発行

社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



「バリアフリーについて」士別小学校
写心家 大平啓朗氏



「夢追いかけ」士別南小学校
パラリンピック金メダリスト 河合純一氏



「自立ということ」士別東高等学校
カムイ大雪バリアフリーツアーセンター
五十嵐真幸氏、三田地政則氏

**子どもの
こころ
を育む講演・交流事業**

将来の地域社会を担う子どもたちの成長の一助となるため、小・中・高等学校へボランティアや福祉をはじめ、様々な分野で活躍されている実践者を派遣し、講演や交流をとおして、子どもたちの心を育む取り組みを行っています。

昨年は、障がい者や東日本大震災被災地社協職員による講演と交流、また、アダプテッドスポーツ体験などを行いました。

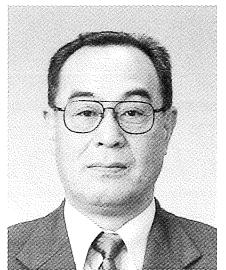


「東日本大震災からの歩み」
士別東高等学校
岩手県宮古市社協 小林さつき氏



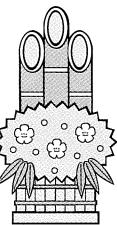
この広報誌は「赤い羽根共同募金」の助成金でつくられています。

新年のご挨拶



社会福祉法人
士別市社会福祉協議会

会長 齊木 勲



明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、社会福祉協議会に対しまして、温かいご支援ご協力を頂き、心から感謝申し上げますとともに、本年も社協活動と地域福祉の発展に向け、「」協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて近年、急速な少子高齢化の進行にともない、福祉を取り巻く状況も大きく変貌しており、家庭環境の変化に加え、人々の生活意識が多様化してきております。

さらに、平成27年度から介護保険制度が改正となり、合わせて「第6期士別市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」並びに「第3期士別市地域福祉計画」が実施される中で、高齢者や障がい者等の地域社会における様々な生活・福祉課題が提起されております。

このためこうした状況を踏まえ、地域福祉の中核を担う社会福祉協議会として、本年も、行政をはじめ自治会やボランティア等、多くの関係団体と連携を密にしながら、小地域福祉活動及び福祉サービス提供等の様々な事業について、なお一層、その取り組みを推進して参りたいと考えております。

今後も、「共に生き・共に支えあうまちづくり」を目指し、鋭意努力して参りますので、特段のご支援ご協力を願い申し上げますとともに、皆様のご健勝ご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

第33回歳末チャリティー ふれあい演芸会



ボランティアサークルむぎの会主催の「第33回歳末チャリティーふれあい演芸会」が12月7日に士別市民文化センターで開催されました。この日は、20団体・個人約200人が出演して、琴・幼稚園児らのお遊戯や児童センターの一輪車・フォーランダンス・バンド演奏・舞踊・吹奏楽などバラエティーに富んだ内容で訪れた観客は、多彩なステージに終始大きな拍手を贈っていました。入場料の益金は、43万1680円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として共同募金委員会に寄付されました。ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。

第30回カラオケ選手権大会 歳末チャリティー



しぶつふれあいの会主催の「歳末チャリティー第30回カラオケ選手権大会」が12月14日に士別市民文化センターで開催され、会場は、満員の観客で埋め尽くされました。今回の選手権には19人が出場、これまで練習を重ねてきた歌を披露し、観客から盛んに拍手が贈られていました。また、今回は30回大会を記念してグランドチャンピオン大会を開催し、これまでの大会優勝者が出場して自慢の歌声を響かせていました。このほか、贊助出演として日本現代舞踊徳本流すずらん会士別教室の方々による舞踊が披露され美しい踊りで舞台に花を添えていました。入場料の益金は、38万7580円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として「共同募金委員会に寄付されました。ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。

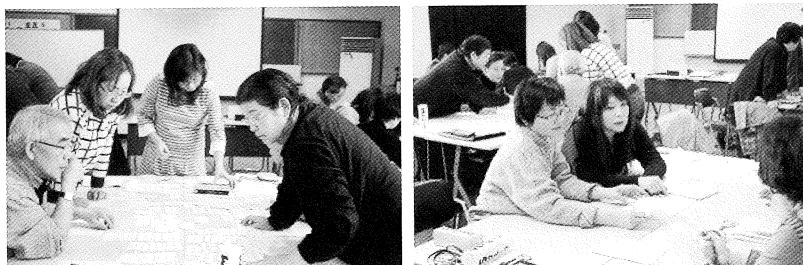
「上川北部ボランティア実践者交流会」開催

11月15日（土）に、「近年の大規模災害時の災害救援ボランティアセンターの役割と機能について」をテーマとし、上川北部（和寒町・中川町）のボランティア実践者交流会が開催されました。今年実際に起った災害現場の映像を交え、外から見える支援や心理的サポートについて、突然ボランティアの支援を受ける身になってしまった人への配慮等、主体はボランティアを「する側」の都合ではなく、「受ける側」にあることを忘れてはならないことを学びました。

その後、参加者のあるグループが被災したと想定し、それに対し、他のグループはどうな支援ができるかといふことを具体的に、書き出す作業を行いました。

例え、「炊き出しの手伝いならば私の地域の○○さんを推薦します」また、「避難所の子ども達のお世話なら○○さんが良いと思います」といったことなどです。参加者からは「支援にはいろいろな方法や種類があつて勉強になった」との声がありました。

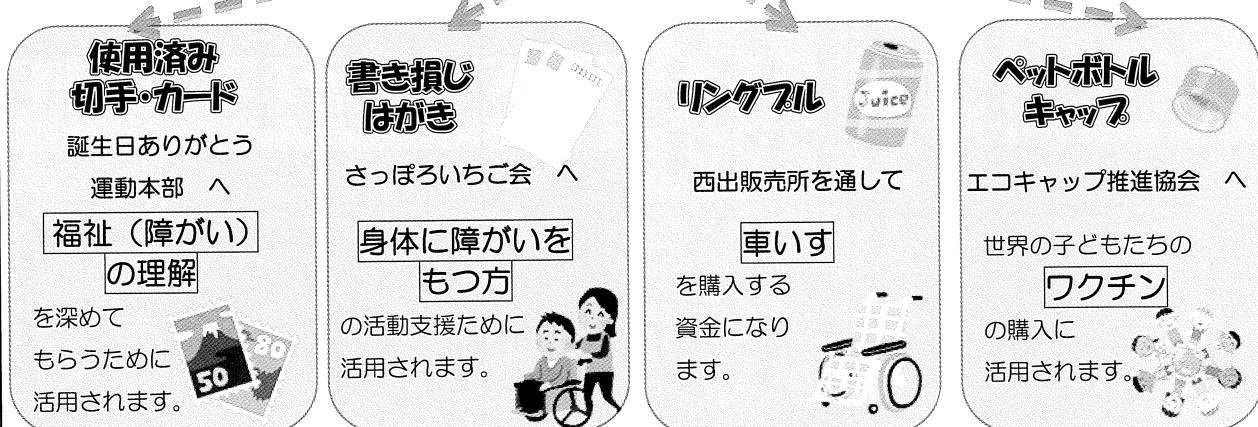
各グループで話し合う中で、仲間同士の交流も深まり、横のつなぎもできた研修会でした。



社協なんでもQ&A④ 「収集ボランティアってなあに？」

使用済み切手やリングブルなどの物品を集め、業者などを通して様々な福祉活動に活用されます。気軽に始められるボランティアのひとつです！

士別市ボランティアセンターでは、以下のようないものを集めています。



豆知識



- * 切手は、周りを1センチほど残して切り取ります。
- * キャップは、「ペットボトルについているキャップ」が対象です。金属製の容器や、プラスチック容器のキャップは含まれません。ご協力よろしくお願いします。

皆様の温かい心 ありがとうございます。
さまざまな福祉の充実に幅広く活用しています。

平成26年11月1日～平成26年12月24日

★おねがい★

使用済み切手、書き損じはがき、使用済みカードは、「収集ボランティアサークルひまわり」さんに、例会時に枚数を数えていただいてから、社協だよりに掲載しています。

あ
いります。
そのため、社協で受付してから名前が社協だよりに掲載されるまで時間がかかることがあります。ご了承下さい。